

# 「MRONJ 患者の予後に関する研究」に対するご協力をお願い

研究責任者 宮下 英高  
研究機関名 慶應義塾大学医学部  
(所属) 歯科・口腔外科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

2012 年 4 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日の間に慶應義塾大学病院歯科・口腔外科で薬剤関連顎骨壊死の保存治療を受けた患者さんです。なお 18 歳以下の方、外科的治療を実施した方は対象外となります。

## 2 研究課題名

承認番号 20241185  
研究課題名 MRONJ 患者の予後に関する研究

## 3 研究組織

<u>研究機関</u>	<u>研究責任者</u>
<u>慶應義塾大学医学部歯科・口腔 外学教室</u>	(職位) (氏名) 宮下英高

## 4 本研究の目的、方法

薬剤関連顎骨壊死 (Medication-Related Osteonecrosis of the Jaw : MRONJ) は、癌の骨転移や骨粗鬆症で使用されるビスホスホネート系薬あるいはデノスマブによって生じる難治性の顎骨壊死です。その治療法は、保存的治療と外科的治療に大別され、保存的治療は症状緩和による QOL の維持増進が期待されるため、現在まで MRONJ 治療の主軸を担ってきました。過去の報告より、保存的治療は一部の患者さんにおいて治癒が期待できる治療法とされておりますが、その長期的な治療成績については未だ不明な点もあり、治療法の選択に難渋することがあります。本研究は、過

去の診療情報をもとに、保存的治療を実施した患者さんの治療成績を調査する事を目的としています。本研究結果は、MRONJ の治療選択時の一助になるものと考えております。

5 協力をお願いする内容

MRONJ 治療時のカルテ情報として、診療記録、臨床検査データ（採血データ）、診断画像（レントゲン写真、CT 写真等）を提供いただきます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2025 年 10 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

該当なし

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室

実務責任者 宗像花楠子

〒160-8582

東京都新宿区信濃町 35

電話番号 03-5363-3831

以上